



私たちは、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、
限りある自然資源を有効利用し、

持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的として活動しています。

事業内容 食品リサイクルループと廃棄物の適正処理を推進する資源循環事業と、森林の再生保全、生物多様性の保全、環境教育を推進する森林再生事業に取り組んでいます。

所管官庁 内閣府大臣官房（公益法人行政担当室） 代表理事 渡邊美樹

賛助会員 入会のご案内

会 員 特 典

ゼロエミッション研究会に無料でご参加いただけます！
食品リサイクル、廃棄物関連法令、廃棄物管理など、
様々な分野の専門家からのアドバイスを受けることができます！
※森林アカデミーも受講される方は別途 3 万円（年額）を頂戴いたします。

年会費

特別賛助会員：1口 500,000 円 賛助会員（民間）：1口 50,000 円
賛助会員（個人）：1口 10,000 円
※入会金 20,000 円 ※年度期中の入会の場合、月割で当年度分の会費額で算定します。

開催決定

2025 年度ゼロエミッション研究会

テーマ

理論と実践で食品リサイクルループを構築する

◆ 既存共同ループの拡大

愛知県名古屋市、新潟県新潟市、
東京都大田区、山口県宇部市・山口市、
福岡県福岡市エリアの参加者拡大

環境・CSR担当者必見！



日 程

第1回 5月29日（木） 第2回 7月24日（木）
第3回 9月18日（木） 第4回 11月20日（木）
第5回 1月29日（木） 第6回 3月19日（木）
※各日とも15時～17時

対 象

SDGs への取組を推進したい食品小売業、
外食産業・食品製造業の環境・CSR 担当者、
リサイクル関連事業者、生産者、行政担当者他

費 用

70,000 円 / 社 （賛助会員は無料）

会 場

公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局
（ワタミ本社ビル会議室又は都内貸会議室）
※各回の詳細はメール、ホームページ等でご案内します

お申込み・お問い合わせ

スタッフが詳しく説明いたします。
まずはお気軽にお問い合わせください！

公益財団法人
Save Earth Foundation 事務局
TEL 03-5737-2744
E-mail info@save-earth.or.jp

美しい地球を子どもたちに残したい
公益財団法人 Save Earth Foundation

TEL:03-5737-2744 FAX:03-5737-2793
E-mail:info@save-earth.or.jp



ミックス
責任ある木質資源
使用した紙

ゼロエミッション研究会 活動成果レポート 2024

公益財団法人 Save Earth Foundation（SEF）は、2015年に設立し、「美しい地球を子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献すること」を目的に掲げ、「資源循環事業」と「森林再生事業」に取り組んでいます。

資源循環事業では、持続可能な循環型社会を目指し、排出者がどのように廃棄物を適正に管理し、再生利用に取り組むことができるのか、廃棄物関連の専門家やリサイクラー、排出事業者がともに勉強会に参加し、意見交換をする場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

食料自給率が40%に満たない日本では、食料の多くを輸入に頼っているにもかかわらず、たくさんの食品を廃棄しています。2022年度の食品由来の廃棄物は、2,232万t、そのうち食べられるのに捨てられた食品ロス、472万t（家庭系236万t、事業系236万t）でした。SEFでは大きな課題である食品廃棄削減に向け、各地域で食品未利用資源を再資源化する食品リサイクルループを構築しています。

食品を捨てない社会 = 地域循環共生圏を構築し、
ゼロエミッション・ゼロカーボンの構築を目指します。

SEFの 活動拠点

資源循環事業のリサイクルループ拠点
大臣認定6件、申請準備中3件
● 森林再生事業の拠点
自然共生サイト申請予定2か所



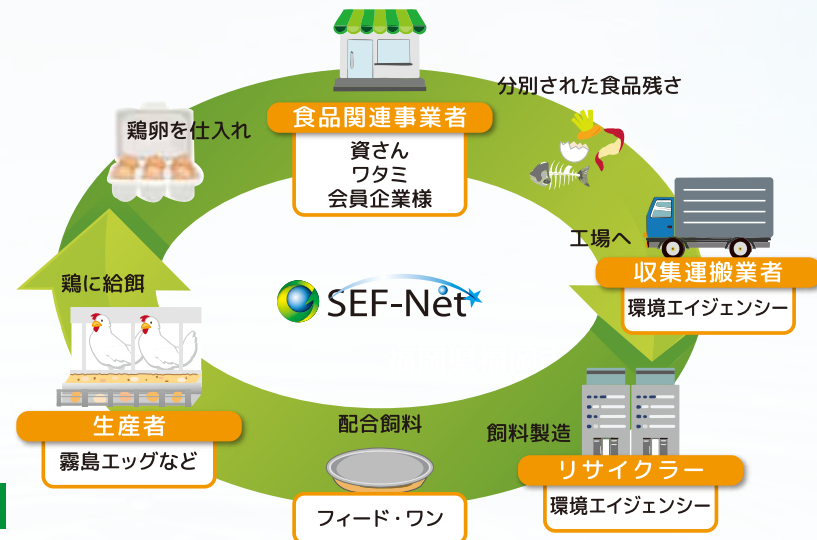
美しい地球を子どもたちに残したい
公益財団法人
Save Earth Foundation

2024年度事業成果

2024年度は、会員企業から要望があった山口県宇部市・山口市と福岡県福岡市の食品リサイクルループを構築しました。参加企業は現在2社ですが、この地域のループに参加したい会員企業様もいらっしゃるので、2025年度は参加企業を増やしながら、拡大していく予定です。2024年9月に環境省や農林水産省に再生利用事業計画書の申請をし、現在、最終確認を行っています。

どちらのリサイクルループも、飼料化され、鶏の飼料に生まれ変わり、その飼料を食べた鶏が産んだ卵を食品関連事業者で買い戻しを行っています。「資さんうどん」ではうどんに入っている生卵や天ぷらの衣に、「ワタミの宅食」では惣菜の錦糸卵に、それぞれ食品リサイクルループの鶏卵が使用されています。

食品リサイクルループ図 福岡県福岡市



食品リサイクルループ図 山口県宇部市・山口市



Topics

7月18日(木) 廃棄物勉強会 講師：SEF理事 アーバンベジ(株)代表取締役 志岐秀明氏

廃棄物の適正処理をするためには、排出事業者自身が法令や運用について知識を持つことが第一歩となります。しかし、企業によっては人事異動により廃棄物の基礎知識を覚え、習得した時期にはまた他の部署に異動してしまうこともあり、廃棄物や環境担当者の教育について課題を持つ企業もあるという声を受け、2023年度より会員企業の廃棄物担当者向けに勉強会を開催しています。

昨年に引き続き、廃棄物業界に知見がある志岐理事に講師をしていただき、廃棄物処理法の歴史や廃棄物管理の目的、適正管理の必要性などを講義いただきました。昨年は26名の参加者でしたが、今年は56名(27社)の参加があり、好評のお声をいただきましたので、来年度も開催予定となっています。



参加者と意見交換しながら実施

2024年度ゼロエミッション研究会

2024年度ゼロエミッション研究会では、これまでにSEFで構築した食品リサイクルループを運用している企業様に事例紹介として講演いただく機会を多く設定しました。「食品リサイクルを自社でも推進したいが、実際のところどうなのだろうか」と不安を感じる企業様の声も多いので、運用している企業様に登壇いただき、意見交換の場を提供することで、より多くの方が食品リサイクルループに興味を持ち、行動できるように工夫をしています。

5月23日(木) 第1回勉強会 参加:40社 83名 『食品循環資源の再生利用による『堆肥化』と『土づくり』』

SEF 顧問 東京農業大学名誉教授 牛久保明邦氏

堆肥に関する基本的な知識から、食品未利用資源を堆肥化することによる意義、「土づくり」や土壌の有機質(炭素)貯留による地球温暖化防止効果について講演いただきました。



牛久保顧問による講演

11月21日(木) 第4回勉強会 参加:40社 62名 『バイオマスリサイクルシステム』

(株) D.I.D 澤田静雄氏

スーパーから排出された食品残さを堆肥化しています。その堆肥を近隣農家で散布し、できた野菜を再びスーパーで販売する食品リサイクルループを構築しています。堆肥化施設では、「ごみを処理する施設ではなく、堆肥の生産工場」と従業員教育をしており、「農家に良い堆肥を認めてもらうものを作る」といったこだわりをお話いただきました。



澤田氏による講演

7月18日(木) 第2回勉強会 参加:39社 73名 『食品リサイクルループ推進の課題と対応』

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株) 菊地弘幸氏

実際に食品リサイクルループを運用している企業の取り組み例として、小売業代表で発表をいただきました。現在3ループを運用する中で、課題と対応について共有いただきました。



菊地氏による講演

1月30日(木) 第5回勉強会 参加:45社 75名 『廃棄物関連法令の最新動向と事例の紹介』

佐藤泉法律事務所 佐藤泉氏

戦後の環境法令の考え方(公害防止)から、現在は地球問題も含んだ法になり、これから企業は何を求められるのかを講演いただきました。規制では対応できない分野が増加し、自主的な取り組みが求められるなど、貴重なお話をさせていただきました。



佐藤弁護士による講演

9月19日(木) 第3回勉強会 参加:43社 74名 『食品ロスの削減の進捗』 ワタミ(株) 柳原拓海氏 『新型計量器のデモンストレーション』

(株)寺岡精工 大藤政雄氏・間所光義氏

企業の取り組み事例の第2弾として、外食業代表でワタミ(株)に発表いただきました。外食店舗での計量を推進していく中でポイントとなるのが小型の計量器です。(株)寺岡精工では、今回のプロジェクトで新たに開発した新型計量器のデモンストレーションを行っていただきました。



新型計量器のデモンストレーション

3月27日(木) 第6回勉強会 参加:45社 73名 『環境省・農水省、参加企業とのディスカッション』

環境省 リサイクル推進室・循環型社会推進室 室長補佐 村井辰太郎氏
農林水産省 食品ロス・リサイクル対策室 室長 鈴木学氏

「食品ロス 50%削減 × 地域循環：食品リサイクルループ構築」というテーマで、外食や小売り、リサイクラーの取り組みを発表していただきました。実際に活動する企業から課題も伺い、国としての認識についてもその場で意見を聞くことができ、ゼロエミ研でしか聞けない内容となりました。



環境省・農水省とディスカッション



左から、SEF 執行理事百瀬氏、環境省村井氏、農林水産省鈴木氏、大嶋氏

